

第17号

発行日 平成18年春号

曹洞宗 慈雲山 松田院 龍源寺

山雲水月

発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道

かくしゅさんないこうじほうこく

各種山内工事報告

矢田地区の役員さんが
木村重太郎さんから樋
口裕さんに変更となり
ました。宜しくお願い
申し上げます



歴代住職墓地と寺族墓地の改修工事

平成18年 龍源寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈祷
- 1/3~1/7 年始挨拶
- ※2/3 大節分会
- ※2/15 涅槃会
- ※3/12 大般若・大施食会
- ※3月中旬 筆供養法要
- 3/18~3/24 春季彼岸会
- ※4/8 降誕会(花祭り)
- 4/29 大施食会兼蚕影山例祭法要
- 7/13~7/16 県外檀信徒棚経
- ※7月下旬 第25回子供禪の集い
- 8/13~8/16 盂蘭盆会
- 9/20~9/26 秋季彼岸会
- ※10月中旬 参拝研修旅行
- ※12/8 成道会
- ※12/31 除夜会
- ※毎週土・日曜日 書道教室
- ※毎週水曜日 定期坐禅会
- ※隔週水曜日 梅花講稽古・華道教室
- ※は御本寺仁叟寺にて開催



併せて行いました
参道の整備も、



駐車場の
整備風景



龍源寺公園墓地分譲中

当寺公園墓地の分譲についての質問など何件ありましたので、紹介をいたします。お問い合わせなどございましたら、遠慮なく当寺までご一報のほど、お願い申し上げます。

●龍源寺新規墓地分譲区画と永代使用料●

6尺×6尺区画 200,000円

6尺×9尺区画 250,000円

9尺×9尺区画 300,000円

※6尺＝約1.8182メートル

9尺＝約2.7273メートル

※その他区画の大きさは応相談



↑ 自然豊かな当寺公園墓地



↑ 昨年の様子
(於、渋川市雙林寺様)

群馬県曹洞宗青年会主催 第44回緑蔭禪の集い

りょくいんぜん つど

第44回緑蔭禪の集い

今年で第44回目を迎える、群馬県曹洞宗青年会主催の緑蔭禪の集いが仁叟寺を会場として開催される運びとなりました。日程は6月10日(土)～11日(日)です。

今年のテーマは「和」で、講師として大本山總持寺より

大山布教部長老師をお迎えをいたします。1泊2日の日程で禪に触れ自然に親しむ同行事は群曹青を代表するそれであり、当日は県内外はじめ多くの皆様の参加が見込まれます。なお、拙僧が同

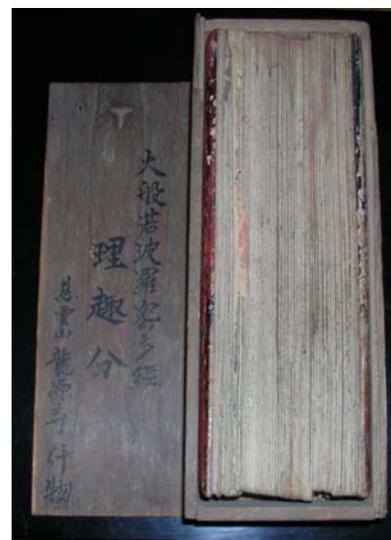
禪の集い委員会の副委員長を拝命しております。興味のある方はこの機会に是非ご参加下さい。

龍源寺探索-14-

今回の探索では当寺に伝わる理趣分を紹介いたします。

理趣分は大乗仏教の密教經典の一つ。正しくは「大樂金剛不空眞実
さんまやきょう はんにやりしゆきょう
三摩耶經」, また「般若理趣經」とも言います。1巻。眞実の知恵
(般若)の極致(理趣)は現実の愛欲や欲望をそのままの形で汚れないものとして肯定できる立場(一切法自性清淨)であり、この苦樂を超越した絶対境(大樂)が悟りであると説く。中国では8世紀後半、不空が翻訳し眞言宗では最も重要な經典とされています。

当寺の理趣分は虫喰いなど保存状態が悪く、使う際には慎重に扱わなくてはなりません。4月29日に行われる毎年恒例の大施食会併修
蚕影山例祭の際に使用をいたします。



いにしえ りしゆぶんきょう
↑ 古から伝わる理趣分經

仁叟寺通信特集-17-

じょやえ だいせつぶんえ ねはんえ ごうたんえ 除夜会、大節分会、涅槃会、降誕会の報告

12月31日の除夜会、2月3日の大節分会、2月15日の釈尊涅槃会、3月の大般若会併修大施食会、春彼岸会、4月8日の釈尊降誕会と山内行持が目白押しでありましたが、総代さん世話人さんなど多くの方々のご協力を得て今年も無事務めることができました。改めて御礼を申し上げます。

今年はまた大変寒さが厳しかったですが、天候が良く多くの参拝者で賑わいました。どの行事も歴史ある日本伝統の恒例行事であり、また地域を代表する催しとしても認知されております。引き続き、皆様方のご協力をお願い申し上げます。



←チラシ



↑「福は内！」



↑ちびっ子節分の準備です



↑ ↓花祭り風景

甘酒は前日から
↓仕込み作業を行います

→上毛、毎日、産經各新聞にも掲載されました



→梅花講の方々との涅槃会のご供養



新入檀徒紹介

- 阿久澤晴美 (矢田)
- 新井 岩雄 (多胡)
- 川上進次郎 (矢田)
- 岡田 清 (矢田)

(敬称略)

左記の方々が新入檀信徒として当寺と縁を結んでいただきました。当寺護持のため、宜しくご尽力賜りますよう、お願い申し上げます。

平成17年度 寄附者一覧 (敬称略)

歴代住職墓地及び寺族墓地造営工事
神保 仁叟寺東堂夫妻

歴代住職墓地及び寺族墓地造営工事
神保 仁叟寺住職夫妻

歴代住職墓地及び寺族墓地造営工事
多胡 当寺住職夫妻

歴代住職墓地本尊涅槃釈迦像
神保 仁叟寺

為宇佐美家石塔開眼会
榎製大位牌
多胡 宇佐美源吾

為両親菩提供養
導師用黒漆塗高座
矢田 矢島昇

為慈徳院慈眼院菩提供養
法堂用榎製菓子器
東京 白田良一

為先祖代々菩提供養
獅子雌雄像一対
吉井 金子明

為歴代住職墓地及び寺族墓地工事記念
黒御影石製燈籠一対
長根 幸和石材

為新盆精霊菩提供養
小豆色大衣
平成17年度当寺新盆檀信徒一同

野菜・漬物沢山
多胡 杉田きくの



行雲流水 (編集後記)

編集人 住職 渡辺龍道

当寺恒例の大施食会、蚕影山例祭法要も恙無く終了いたしました。今年は当寺の歴代住職墓地ならびに寺族墓地の改修を行い、その開眼法要も併せて行いました。また、駐車場の整備や墓地の水路補修工事など当寺の護持運営に必要と思われることは、役員会に諮ってから行っております。

当寺は小さな山寺ですが、自然豊かなお寺です。来る方に清清しさと癒しを提供できればと山内一同精進をしております。

→ 満開の櫻

